

1 単元 感動の中心をとらえよう 「海のいのち」

2 目標

- (1) 物語が自分に最も強く語りかけてきたことをまとめ、考えを伝え合うことに意欲的に取り組もうとしている。
(国語への関心・意欲・態度)
- (2) 物語の山場で起きる人物の心情の変化を読み取り、物語が自分に最も強く語りかけてきたことを考えながら読むことができる。
(読むこと)
- (3) 物語が自分に最も強く語りかけてきたことを友達と伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
(読むこと)
- (4) 大事な言葉や表現の工夫などに気付き、物語が強く語りかけてきたことを考える手がかりにすることができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

3 単元について

本単元の重点指導事項は、学習指導要領におけるC読むことエ「登場人物の相互関係や心情、場面について描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。」である。児童はこれまでに、中心となる人物の心情の変化や物語の山場を捉えて読む学習をしている。そこで、本単元では積み上げてきた読む力を総合的に生かしながら、中心となる人物の心情の変化を読み取り、自分が物語から受ける感動の中心を捉えて表現する力をつけることをねらいとしている。また、言語活動として「解説文にまとめる活動」を位置付けた。ここで取り上げる解説文には、物語の登場人物同士の関係を図で表した人物関係図、物語のあらすじ、物語が自分に最も強く語りかけてきたことをまとめる部分を位置付ける。このことで、本単元でねらう「登場人物の相互関係や心情、場面について描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること」(C読むことエ)を実現できるようにした。

本校の第6学年の児童は、平成30年度全国学力・学習状況調査において、「登場人物の心情について、情景描写を基に捉えることができるかどうかをみる。」問題の正答率が*%であり、全国正答率に比べると低い結果となった。このことから、登場人物の心情について、相互関係や情景描写を基に捉えることに課題があることが分かった。また、本学級において実態調査を実施したところ、次のような結果が得られた。

実態調査 男子*名 女子*名 合計*名 平成30年9月21日実施

設問	正答	誤答
平成29年度茨城県学力診断のためのテスト6年生 ⑬「わたしは少し緊張した」とありますが、それは、だれが、どうしたからですか。本文中の言葉を使って25字以上30字以内で書きなさい。	*人	*人 (主述のねじれ*人, 読み取れていない*人)
⑭「わたしがその子の後を追いかけてみようかどうしようかと迷っている」とありますが、なぜ、わたしは迷ったのですか。その理由を「男の子」「無断持ちだし」という言葉を使って、25字以上35字以内で書きなさい。	*人	*人 (「～から。」抜け*人, 指定語句抜け*人, 文意が通らない*人, 読み取れていない*人)
⑮この文章の表現の特ちょうを説明したものとしてもっともふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選んで、その記号を□の中に書きなさい。 ア 情景描写が多く用いられている。 イ 物語は「わたし」からの視点でえがかれている。 ウ 回想場面(思い出す場面)が用いられている。 エ たとえたり、くり返したりする表現が用いられている。	イ *人	ア *人 ウ *人 エ *人 無答 *人

「優れた表現や特徴について気付く力」(設問⑮)の問題の正答率は*%であるが、「文脈に即して人物の心情を捉える力」(設問⑬)や「文脈を基に人物の心情を捉える力」(設問⑭)に関しては、正答率がそれぞれ低い結果となった。このことから、文脈に即して人物の心情を捉えることに課題があることが分かった。以上のことから、登場人物の相互関

係や心情を捉え、叙述を基に自分の考えをまとめる力を育てる学習指導を行う必要があると考える。

そこで、本単元の指導にあたっては、第1次では、児童に読みの必要性をもたせ、意欲的に学習に取り組めるようにするためにモデルを提示し、自分の読みを解説文にまとめるという単元の見通しをもたせる。また、個々の初発の感想や疑問から出た、学級で解決していく読みの課題を精選し、「6年*組 読みの課題」として設定する。第2次では、「6年*組 読みの課題」を基に、出来事や人物相互の関係、表現の工夫を手がかりにして、読みを深めていく。その際、人物関係図を活用し、登場人物の相互関係や人物像をつかみ、行動や情景などを通して登場人物の心情を捉えられるようにする。また、「海のいのち」の全文を一枚にまとめた「全文一枚プリント」を用いて、心に残った叙述や考えをまとめるために必要な叙述に、線を引いたり抜き出したりする。第3次では、物語が最も自分に強く語りかけてきたことを話し合い、解説文にまとめていく。その際、第2次で用いた「全文一枚プリント」を活用し、それを基に叙述をどのように解釈したのか、自分の考えを文章にまとめたり、短い言葉で表したりする。できた解説文は、友達と交流することで、自分の考えを広げたり深めたりできるようにする。

4 指導計画 (9時間取扱い) ○は本時

次	時	主な学習活動	評価計画			評価基準
			関	読	言	
1	1	<ul style="list-style-type: none"> 単元の見通しをもち、海のいのちの解説文を作ることを知る。 「海のいのち」を通読し、初発の感想や疑問から、学級で考えたい読みの課題をまとめる。 	○			<ul style="list-style-type: none"> 解説文について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組んでいる。 印象に残った場面や疑問をもった点に印をつけながら読んでいる。
	2	<ul style="list-style-type: none"> 印象に残った場面や疑問をもった点を交流し、学級で解決していく読みの課題を「6年2組 読みの課題」として設定する。 	○			<ul style="list-style-type: none"> 印象に残った場面や疑問をもった点をグループや全体で伝え合っている。
2	3	<ul style="list-style-type: none"> 「時・場所・人物」を手がかりに、物語の構成を理解し、太一の心情が大きく変化した場面(山場)を捉える。 各場面のあらすじを一文でまとめ、物語の大体をつかむ。 		○		<ul style="list-style-type: none"> 物語の構成を捉え、山場に注目し、太一の心情の変化を読み取っている。 「時・場所・人物」を手がかりに、各場面の内容の大体を捉えている。
	4	<ul style="list-style-type: none"> 人物と人物の関係や、文章表現の工夫を手がかりに、太一の心情の変化とその理由について話し合う。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> 人物と人物の関係が分かる言葉に着目し、太一の心情を読み取っている。 だいたいな言葉や表現の工夫などに気付き、物語が強く語りかけてきたことを考える手がかりにしている。
	5					
	6	<ul style="list-style-type: none"> 「6年*組 読みの課題」(山場での太一の心情の変化)について、話し合う。 		○		<ul style="list-style-type: none"> 太一の心情の変化を読み取り、その理由を考えている。
	7	<ul style="list-style-type: none"> 物語全体を捉え、太一の生き方について考える。 		○		<ul style="list-style-type: none"> 人物の行動や生き方を描き出す描写に着目して読み、太一の生き方を捉えている。
8	<ul style="list-style-type: none"> 物語が自分に最も強く語りかけてきたことを「海のいのち」解説文にまとめる。 		○		<ul style="list-style-type: none"> 物語が自分に最も強く語りかけてきたことを、叙述を基にして解説文にまとめることができる。 	
3	9	<ul style="list-style-type: none"> 友達の解説文を読み合い、物語から感じたことを伝え合う。 		○		<ul style="list-style-type: none"> 物語から感じたことを伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。

5 本時の指導

(1) 目標

物語が自分に最も強く語りかけてきたことを、叙述を基にして解説文にまとめることができる。

(2) 準備・資料

解説文のモデル、全文一枚プリント、付箋、ヒントシート、ワークシート

(3) 展開

学習活動・内容	時間配分	指導上の留意点と評価（評価◎） ☆は一人一人を生かす手立て
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>物語が自分に最も強く語りかけてきたことを、「海のいのち」解説文にまとめよう。</p> </div>	3	<ul style="list-style-type: none"> ・解説文のモデルを見せることで、学習への関心を高め、本時のゴールを意識できるようにする。 ・前時までの学習を振り返り、解説文にまとめる方法や内容を確認することで、本時の学習の見通しをもてるようにする。
<p>2 印象に残った叙述に線を引き、それについて感じたことや考えたことを付箋に書く。</p>	10	<ul style="list-style-type: none"> ・物語が強く語りかけてきたことをまとめる際の手がかりにするために、全文一枚プリントを用いて印象に残った叙述に線を引くよう指示する。 ・物語の引用部分と自分の考えを区別して書けるように、感じたことや考えたことは付箋に書くよう指示する。 ・線を引いた叙述や、付箋に書いたことを基に、キャッチコピーのような短い言葉でまとめることを確認する。
<p>3 線を引いたところや付箋に書いたことを発表する。</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> ☆まずは、ペアで交流した後、全体で共有することで、児童が自信をもって発表できるようにする。 ・4の活動の手がかりとなるように、児童の意見を板書する。
<p>4 物語が強く語りかけてきたことを、短い言葉でまとめ、解説文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共に生きる ・いのちの大切さ ・海のいのちを守る ・つながるいのち ・同じいのち ・自分で生き方を選ぶ 	22	<ul style="list-style-type: none"> ☆解説文のモデルを拡大した物を黒板に掲示することで、考える際の参考にできるようにする。 ☆つまずいている児童には、ヒントシートを渡し、考える際の参考にするよう助言する。 ☆早くまとめられた児童の言葉をいくつか板書し、他の児童が参考にできるようにする。 ・物語の叙述を引用する際には、かぎ括弧を付けて書き抜くよう伝える。 ・解説文を書く際には、これまでの学習でまとめた人物関係図や自分の読みを生かして書くよう伝える。
		<p>◎物語が自分に最も強く語りかけてきたことを、叙述を基にして解説文にまとめることができる。 (ワークシートの記述分析)</p>
		<p>[目標を達成した児童の姿] 物語が自分に最も強く語りかけてきたことを、「共に生きる」などといった短い言葉で表し、なぜその言葉にまとめたのかを、叙述を基にして説明している。</p>
<p>5 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> ・次時の友達との交流に向けて、自分で書いた解説文を読み直し、推敲するよう伝える。